高校生らしいテーマの選択とその展開について

審査委員 菅原 正

今回大賞候補となった7つの論文には、高校生らしいテーマの選択とその展開がみられ楽しく読むことができました。大賞となった齋藤君の三角形と外接円錐曲線の関連についての論文は、大変レベルの高い内容です。しいて言えば、なぜこのテーマに興味をもったかについてもっと触れてほしかったという気がします。横川君を代表とするシロアリ班の研究を始めとして、自分達で身の廻りの自然環境から、興味をもった現象を取り上げ、共同研究として成果を挙げているものが5件ほどあります。植物の乳液成分の防虫効果、野菜の種類による切断面変色の違いの原因究明、廃棄マイクロプラスチックの分布の解明と生物分解性プラスチック合成、タンポポの在来種、外来種、雑種の分布調査の研究、いずれも着眼点に優れ、実験も合理的に進めており、大変好感が持てました。スペースプレーンモデル実験は夢のあるテーマですが、まだ色々な条件下での実験が必要です。今後の展開を期待します。